

「HP 掲載文」

1990年1月1日から2018年4月30日までの間に川崎医科大学附属病院で濾胞性リンパ腫と診断された患者さんへのお知らせ

課題名:濾胞性リンパ腫から形質転換した aggressive リンパ腫におけるスフィンゴシン-1 リン酸受容体 1 の発現の意義

当教室では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、1990年1月1日から2018年4月30日までの間に、当院において濾胞性リンパ腫と診断された患者さんについて、びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫を代表とする高悪性度リンパ腫への形質転換におけるリスク因子に関して後方視的調査研究を実施します。

研究期間は倫理委員会承認日から2020年12月31日までです。

治療介入を伴わない既存情報(血液検査・尿検査・画像検査・組織検査データおよび病理検体など)のみを用いた後方視的研究であるため、新たに人体試料は採取しません。個人が直接同定される情報は収集いたしません。また、経済的負担・謝礼はございません。

研究成果は論文や学会などで発表いたします。研究に関するデータは論文などの発表から5年後に廃棄いたします。

研究をするために必要な資金をスポンサー(製薬会社等)から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが生じかねない状態を利益相反状態といいます。この研究は川崎医科大学血液内科学教室の教室費と平成30年度川崎医科大学プロジェクト研究費を用いて実施されます。

なお、本研究を実施する関係者は、本研究結果に影響を与えるような資金の受け入れはありません。

研究に関してご質問のある方や研究にデータが使用されることを希望されない方は、下記までご一報下さいますようお願いいたします。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

【問い合わせ先】

担当者：所属 川崎医科大学血液内科学

職名：臨床助教 氏名 清水里紗(研究責任者)

TEL：086-462-1111 (内線:27513)

FAX：086-464-1194 Email：hematol@med.kawasaki-m.ac.jp